

施策評価調書(4年度実績)

				施策コード	Ⅱ-8-(1)		
政策体系	施策名	地域の元気の創造	所管部局名	企画振興部		長期総合計画頁	107
	政策名	活力みなぎる地域づくりの推進	関係部局名	企画振興部、生活環境部、商工観光労働部			

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	元気で活気あふれる地域づくりの推進	特徴ある地域づくりの展開	地域づくりの担い手の確保・育成	空き家を利活用した地域づくりの推進
取組No.	⑤			
取組項目	地域に活力を生み出す 経済基盤の安定と仕事づくり			

【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する 取組No.	基準値		4年度			6年度	目標達成度(%)										
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125						
i	地域活力づくり取組件数(件・累計)	①②③ ④⑤	H26	645	1,560	1,577	101.1%	1,800											
ii	空き家の利活用数(空き家バンクの活用数)(件)	④	H30	312	370	537	145.1%	400											

【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理 由 等	平均評価
i	達成	県内各地域で地域資源を生かした活力づくりに取り組んだ結果、目標値を達成した。	達成
ii	達成	空き家の活用に対する支援について情報発信を行ったほか、空き家を活用する際の補助事業を実施したことで空き家の利活用が進み、目標値を達成した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・新たに創設した「空き家ビジネス活用支援枠」の補助を通して、空き家の利活用による地域の活性化を行った。
②	・別府市内でベルリンを拠点に国際的に活躍するアーティスト塩田千春氏による展覧会「塩田千春 巡る記憶」を開催し、16,274人が作品観覧に訪れた。 ・ジオパークの体験ワークショップイベント及び体験科学講座の実施等による情報発信を行い認知度向上や普及啓発を図った。 ・ユネスコエコパークの認知度向上のため、オフィシャルアーティストによる情報発信を行うとともに、県内エリア3市の宿泊施設の改修など受入環境の整備を支援した。
③	・地域おこし協力隊員のネットワーク化や、OB/OGによる定期訪問などにより、隊員の活動環境の整備が図られた。 ・観光・地域づくりを担う人材の育成を目指すおおいだツーリズム大学の修了生が累計358名となった。(R4年度新規修了生16名)
④	・空き家の活用にかかる支援について、新聞やSNS等を活用した情報発信を行ったほか、空き家を活用する際の補助事業(空き家利活用事業費補助金、地域活力づくり総合補助金)を実施し、前年度を上回る空き家バンクの利活用数となった。
⑤	・県内6振興局ごとの特徴を生かした産業振興や仕事づくりに取り組んだ。(Ⅱ-8-(2)参照)

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(4年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	地域活力づくり総合補助金	101.1	272
②	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	254.7	68
	おおいだジオパーク推進事業	128.0	69
	芸術文化による地域おこし事業	146.1	341
③	ふるさと大分UIJターン推進事業	82.9	156
	おもてなし人材育成事業	82.2	243
④	空き家対策促進事業	107.2	126

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第19回大分県まち・ひと・しごと創生本部会議(R4.8)</p> <p>・空き家バンクとか空き地バンクで、いろんなかたちで、住居の情報を増やしていくということが移住施策に大事。</p>	<p>○R4年第3回定例会(R4.9)</p> <p>・芸術文化振興における大分県の芸術家とその作品ゆかりの都市との交流など、県立美術館とゆかりの地を結びつけた企画なども期待している。</p>
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・地域の資源である空き家を活用した地域ビジネスの創出などを通じて、地方創生に資する取り組みを引き続き推進する。</p> <p>・芸術文化団体や市町村等と連携し、現代アート等による新たな地域拠点の創出など、芸術文化を活用した交流人口の増加につなげる。</p> <p>・地域を牽引するリーダーを育成するため、おおいだツーリズム大学において、実践例の体験や各地の取り組みを題材に議論を行うなど、県内外での講義を実施していく。</p>